

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 110-0016

住 所 東京都台東区台東1-2-16

氏 名 株式会社ライフコーポレーション

代表取締役社長執行役員 岩崎 高治 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社ライフコーポレーション		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市神奈川県川崎市川崎区大島4-3-1 (ライフ川崎大島店)		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	I	卸売業, 小売業
	中分類	58	飲食料品小売業
主たる事業 の内容	食料品等販売		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	5,947	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	2019 年度 ~ 2021 年度 (報告年度 2021 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第1、2、4号該当者等)

(1) 計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
	(2018年度)	(2019年度)	(2020年度)	(2021年度)	
排出量 (t-CO2)	(実) 9,654	(実) 9,530	(実) 10,420	(実) 11,323	(実) 10,064
	(調) 9,397	(調) 9,271	(調) 9,793	(調) 9,717	(調) 10,046
削減率		(実) 1.3 %	(実) -7.9 %	(実) -17.3 %	(実) -4.2 %
		(調) 1.3 %	(調) -4.2 %	(調) -3.4 %	(調) -6.9 %

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値 (任意記載)

原単位等の活動量	延床面積*営業時間				原単位等の単位	t-CO2/千㎡*千H
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標とした値	
	(2018年度)	(2019年度)	(2020年度)	(2021年度)		
排出量原単位等の値	35.75	33.32	36.09	35.09	34.68	
活動量の値	279.790784	285.9971475	288.706222	322.6	-	
排出量原単位等の削減率		6.8 %	-1.0 %	1.8 %	3.0 %	

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	8月に基準年度に含まれていない川崎ルフロン店が開店し、温室効果ガスの排出施設が増えたが、川崎桜本店・宿河原店にて営業時間の短縮(1日0.5hずつ)や、各店省エネ・節電への意識的な取り組み、エネルギー効率の高い設備への入れ替えなどで少しずつ排出量を削減することができた。	
第2年度	2019年8月に開店した川崎ルフロン店の営業日数が今年度は1年間と増えたことと、電力会社の変更による排出係数が増加したこと、コロナ感染対策で店内の換気が必要ななか店内の気温・商品ケース温度を保つために電気消費量が増加した店舗もあることから、昨年度より温室効果ガス排出量が増えた。	
第3年度	4月21日に溝口店が開店したことにより電力使用量が増加し、温室効果ガスの排出量が増えた。	
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)		新店開店に伴い、年々排出量が増加傾向にあり目標を達成することができなかった。
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)		可能な範囲で太陽光パネルの設置や省エネ・節電について従業員への啓発教育を継続実施。また、エネルギー効率の良い機器の導入など。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標) (任意記載)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

<p>計 画</p>	<p>○空調設備 室内条件を把握し、こまめに温度調整をおこなう。状況に応じて空調の停止、稼働台数・稼働時間の調整に努める。設備更新時には省エネタイプの設備を採用する。</p> <p>○冷凍・冷蔵ケース 日々の温度確認を実施し、過度な低温設定の是正を図る。商品の積み過ぎ・詰め込み過ぎによる効率低減を防ぐ。設備更新時には省エネタイプの設備を採用する。</p>
<p>第1年度</p>	<p>○体制 本社と市内事業所の連携による省エネ取り組み等の情報共有の実施</p> <p>○空調設備 室内条件の把握による温度調節及び稼働管理の実施</p> <p>○照明設備・冷蔵ケース 営業時間外における必要箇所のための照明点灯、冷蔵ケースの適正温度管理の実施</p> <p>○その他 省エネ・節電に対する従業員への意識啓発の実施</p>
<p>第2年度</p>	<p>○体制 本社と市内事業所の連携による省エネ取り組み等の情報共有の実施</p> <p>○空調設備 室内条件の把握による温度調節及び稼働管理の実施</p> <p>○照明設備・冷蔵ケース 営業時間外における必要箇所のための照明点灯、冷蔵ケースの適正温度管理の実施</p> <p>○その他 省エネ・節電に対する従業員への意識啓発の実施</p>
<p>第3年度</p>	<p>○体制 本社と市内事業所の連携による省エネ取り組み等の情報共有の実施</p> <p>○空調設備 室内条件の把握による温度調節及び稼働管理の実施</p> <p>○照明設備・冷蔵ケース 営業時間外における必要箇所のための照明点灯、冷蔵ケースの適正温度管理の実施</p> <p>○その他 省エネ・節電に対する従業員への意識啓発の実施</p>
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	<p>温室効果ガス排出削減のために大きな取り組みを実施することはできなかったが、上記の取り組みを継続して行うことで意識が変わり始めてきた。今後も引き続き意識啓発を進めていき数値改善に努めたい。</p>

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他()		
その他()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
太陽光	川崎大島店に太陽光パネルを設置	2017年

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他()	
EV、PHV、FCV	×	その他()	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	無し
第1年度	無し
第2年度	無し
第3年度	無し

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	3Rの推進による資源の有効活用。 <ul style="list-style-type: none"> ・マイバッグ持参推進活動 ・エコトレーの利用 ・容器包装リサイクル ・食品廃棄物リサイクル 等
第1年度	1、食品リサイクルの推進 魚あら・廃油の100%リサイクルの実施。専用施設のバイオマス発電(一部店舗) 2、エネルギー使用量の把握 店舗毎に月別のエネルギー使用量を把握 3、その他 マイバッグ推進、リサイクル資源の店頭回収等を実施
第2年度	1、食品リサイクルの推進 魚あら・廃油の100%リサイクルの実施。専用施設のバイオマス発電(一部店舗) 2、エネルギー使用量の把握 店舗毎に月別のエネルギー使用量を把握 3、その他 マイバッグ推進、リサイクル資源の店頭回収、近隣の保育園・小学校等に食品ロスに関する授業等を実施
第3年度	1、食品リサイクルの推進 魚あら・廃油の100%リサイクルの実施。専用施設のバイオマス発電(一部店舗) 2、エネルギー使用量の把握 店舗毎に月別のエネルギー使用量を把握 3、その他 マイバッグ推進、リサイクル資源の店頭回収、近隣の保育園・小学校等に食品ロスに関する授業等を実施

6 基準年度からのエネルギー起源CO₂の排出の量等の推移（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
エネルギー起源 CO ₂ 排出量	9,654 t-CO ₂	9,530 t-CO ₂	10,420 t-CO ₂	11,323 t-CO ₂
原油換算エネルギー 使用量	5,222 KL	5,229 KL	5,364 KL	5,947 KL
事業所の数	13	14	14	15

(2) 事業所等单位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
宮内二丁目店	神奈川県川崎市中原区宮内2-1-1	1,001	972	1,030	1,133
子母口店	神奈川県川崎市高津区子母口字旭田284	995	956	1,048	985
川崎大島店	神奈川県川崎市川崎区大島4-3-1	942	935	1,032	1,118